

- 問1 室町時代に足利義満が明（中国）との間で始めた日明貿易において、公的な貿易船であることを証明するために「勘合（かんごう）」という札が使われた理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 当時、沿岸部で略奪行為を行っていた海賊である和寇（わこう）と、正式な貿易船を区別するため | 2. キリスト教の布教を目的とした宣教師が、貿易船に紛れて入国するのを防ぐため | 3. 明の皇帝に対して、日本が臣下ではない対等な立場であることを示すため | 4. 金や銀などの貴重な資源が日本国外へ大量に流出するのを食い止めるため |
|---|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問2 江戸時代の芸術に関する説明として、室町時代の水墨画を大成した雪舟の作品と明確に区別される、俵屋宗達による装飾的な屏風絵の名称として正しいものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|
| 1. 風神雷神図屏風 | 2. 洛中洛外図屏風 | 3. 紅白梅図屏風 | 4. 唐獅子図屏風 |
|------------|------------|-----------|-----------|
- 問3 江戸時代中期、5代将軍徳川綱吉の時代を中心に、上方（京都・大阪）の町人を担い手として栄えた「元禄文化」について述べた文として、正しい人物は誰ですか。三味線の伴奏に合わせた語りに合わせて人形を操る劇の脚本を書き、庶民の義理や人情の葛藤を描いて人気を博しました。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 近松門左衛門 | 2. 本居宣長 | 3. 井原西鶴 | 4. 松尾芭蕉 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問4 江戸時代、佐賀藩の藩校などで教育が盛んに行われていた時期に、杉田玄白らが『解体新書』を出版したことが、その後の日本の学問に与えた影響について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. キリスト教の教義が医学と結びついて全国に広まり、欧米諸国との自由貿易が再開されるきっかけとなった。 | 2. 世阿弥が大成させた能や狂言などの伝統芸能が、町人の文化として全盛期を迎える要因となった。 | 3. オランダ語を通じて西洋の学問を研究する「蘭学」が、日本で本格的に発展する基礎となった。 | 4. 栄西や道元が伝えた禅宗の教えが、幕府の保護を受けて武士の間に広く浸透するきっかけとなった。 |
|--|---|--|--|
- 問5 杉田玄白らが『解体新書』を出版するに至った背景や過程について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 中国から伝わった漢方医学の知識が西洋医学よりも優れていることを証明するために、対比資料として出版した。 | 2. 幕府の公式な命令を受け、長崎の出島に滞在していたドイツ人医師シーボルトから直接指導を受けて翻訳した。 | 3. 刑場での処刑に立ち会い、人体の内部がオランダ語の医学書の図と一致することを確かめた上で翻訳を行った。 | 4. 鎖国体制を打破し、開国を促すための政治的なパンフレットとして、西洋の先進的な科学技術を紹介した。 |
|--|---|---|---|
- 問6 江戸幕府の第3代将軍が、大名に対して1年おきに自らの領地と江戸を往復することを義務づけた制度の名称と、その制度を定めた将軍の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|----------------|--------------------|----------------|
| 1. 参勤交代 — 徳川家康 | 2. 参勤交代 — 徳川家光 | 3. 禁中並公家諸法度 — 徳川家光 | 4. 参勤交代 — 徳川吉宗 |
|----------------|----------------|--------------------|----------------|
- 問7 江戸時代、江戸が全国から大量の物資を集める「消費都市」として発展した理由として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 幕府が農作業を推奨したことで、江戸の市街地において広大な農地が確保されていたから。 | 2. 土地利用の約7割を武家地が占め、生産を行わず物資を消費する武士層が多く暮らしていたから。 | 3. 江戸の町人が中心となって工業製品を生産し、それを大阪などの他地域へ輸出したから。 | 4. 全国の諸藩が年貢米を運んで売却するための蔵屋敷が、江戸の川沿いに集中して建てられたから。 |
|--|---|---|---|
- 問8 江戸時代、現在の北海道にあたる地域は「蝦夷地」と呼ばれていました。この地域を中心に独自の言語や宗教、生活習慣といった文化を築き、北海道南部に拠点を持っていた松前藩と交易を行っていた先住民族を何と呼びますか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|--------|------------|
| 1. 琉球民族 | 2. 屯田兵 | 3. アイヌ | 4. 蝦夷（えみし） |
|---------|--------|--------|------------|
- 問9 江戸幕府の三代将軍として、大名が一年交代で江戸と領地を行き来する「参勤交代」を制度化し、幕府による大名の支配体制を固めた人物は誰ですか。（2023年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 徳川家康 | 2. 徳川秀忠 | 3. 徳川吉宗 | 4. 徳川家光 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 江戸幕府が1615年に制定した法令において、大名に対して「新しい城を築いてはならない」「幕府に無断で婚姻を結んではならない」といった厳しい制限を課した主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--------------------------------------|--|
| 1. 大名が独自の軍事力を持ったり、有力な大名同士が同盟を結んだりして、幕府を脅かすのを防ぐため | 2. 大名の領地経営を安定させ、農民たちが年貢を納めやすくする環境を整えるため | 3. 大名が朝廷と直接交渉することを促し、将軍の政治的負担を軽減するため | 4. 大名の財政を圧迫させ、江戸での参勤交代にかかる費用を強制的に捻出させるため |
|--|---|--------------------------------------|--|
- 問11 江戸時代、幕府はキリスト教の禁教を徹底する一方で、第8代将軍の徳川吉宗は「享保の改革」において、キリスト教に関係のない「漢訳洋書」の輸入制限を緩和しました。この政策が取られた背景として最も適切な理由はどれですか。（2023年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. イエズス会の宣教師を登用して、西洋の軍事技術を導入し幕府の軍事力を強化するため | 2. オランダ商館を出島から江戸へ移転させ、幕府が直接貿易を管理する体制を整えるため | 3. キリスト教の布教を認めることで、鎖国政策を終わらせてヨーロッパ諸国との自由貿易を再開するため | 4. 実用的な学問である「実学」を奨励し、農業や天文などの知識を国内の産業や暦の改良に役立てるため |
|--|--|---|---|
- 問12 江戸時代は、それ以前の戦国時代などと比較して「大きな戦乱のない世」と評されます。約260年という長期間にわたって平和が保たれた背景として、幕府が行った統治の仕組みについて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2015年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|--|
| 1. 実力のある者が上の者を倒す下剋上の風潮を認め、社会の活性化を図った | 2. 武力による領土拡大を奨励し、諸大名を競わせることで勢力の均衡を保った | 3. 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した | 4. 民衆が自ら政治を行う権利を全面的に認め、合議制による全国統治を展開した |
|--------------------------------------|---------------------------------------|---|--|
- 問13 徳川吉宗が長崎貿易の立て直しを図る際、金や銀の海外流出を抑えるための代わりに輸出品として、いりこ・干しあわび・ふかひれなどの海産物の生産が奨励されました。これらを依に詰めて輸出したことから何と呼びますか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 朱印状 | 2. 蔵物 | 3. 生糸 | 4. 俵物 |
|--------|-------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 当時、沿岸部で略奪行為を行っていた海賊である和寇（わこう）と、正式な貿易船を区別するため	日明貿易では、明側から発行された「勘合」という札を、日本側が持参した札と照らし合わせることで、正式な使節であることを確認しました。これは、当時東アジアの海域で活動していた海賊（和寇）による密貿易や略奪を防ぎ、幕府が貿易の利益を独占して統制することを目的としていました。
問2	答え 1 風神雷神図屏風	俵屋宗達は元禄文化に先駆け、金箔を背景に用いるなど豪華で装飾的な「琳派」の源流を作りました。水墨画を特徴とする室町時代の雪舟とは作風が大きく異なります。なお、紅白梅図屏風は、のちに俵屋宗達の影響を受けた尾形光琳によって描かれた作品です。
問3	答え 1 近松門左衛門	江戸時代に三都（江戸・京都・大阪）が経済の中心として発展する中で、上方を中心に町人たちが新しい文化の担い手となりました。近松門左衛門は、人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本家として、実際の心中事件などを題材に社会的な道徳である「義理」と、個人の感情である「人情」の対立を描き、当時の人々の深い共感を得ました。
問4	答え 3 オランダ語を通じて西洋の学問を研究する「蘭学」が、日本で本格的に発展する基礎となった。	『解体新書』の出版は、単なる医学の進歩にとどまらず、オランダ語を介して西洋の進んだ科学技術や思想を体系的に学ぶ「蘭学」という学問が確立される重要な契機となりました。選択肢にある禅宗は鎌倉時代、能は室町時代に関する記述であり、江戸時代の学問的発展とは異なります。
問5	答え 3 刑場での処刑に立ち会い、人体の内部がオランダ語の医学書の図と一致することを確認した上で翻訳を行った。	杉田玄白や前野良沢らは、小塚原の刑場で行われた死体の解剖（腑分け）を見学した際、持参した『ターヘル・アナトミア』の図面が実際の臓器の配置と正確に一致していることに深い感銘を受けました。当時の主流であった漢方医学の知識に疑問を持ち、客観的な事実に基づいた西洋医学の重要性を認識したことが、困難な翻訳作業を決意する動機となりました。この出来事は、日本の学問が実証主義的な方向へ進む大きな転換点となりました。
問6	答え 2 参勤交代 ― 徳川家光	徳川家光は、1635年の武家諸法度の改定（寛永令）によって、それまで慣習的に行われていた参勤交代を制度として正式に義務づけました。この制度により、大名は1年おきに江戸と領地を往復し、妻や子は人質として江戸に住まわされることになりました。徳川家康は幕府を開いた初代将軍、徳川吉宗は享保の改革を行った第8代将軍です。
問7	答え 2 土地利用の約7割を武家地が占め、生産を行わず物資を消費する武士層が多く暮らしていたから。	江戸は将軍のおひざもとであり、参勤交代を行う大名やその家臣、旗本などの武士が多数居住していました。土地の大部分（約68%）が武家地であったため、自ら生産をしない人々を支えるための膨大な需要が生まれ、大消費都市となりました。
問8	答え 3 アイヌ	アイヌの人々は、現在の北海道、樺太、千島列島などの広範囲にわたり独自の文化を築いた先住民族です。江戸時代、幕府からこの地域での支配権・交易権を認められた松前藩は、アイヌの人々との交易を独占的に行之、アイヌの特産品と本州の米や鉄製品などを交換していました。
問9	答え 4 徳川家光	二代将軍秀忠の跡を継いだ徳川家光は、1635年に「武家諸法度」を改定し、それまで慣習的に行われていた参勤交代を義務化しました。これにより、幕府の権威を全国に示し、組織的な支配体制を完成させました。
問10	答え 1 大名が独自の軍事力を持ったり、有力な大名どうしが同盟を結んだりして、幕府を脅かすのを防ぐため	関ヶ原の戦いや大坂の陣を経て成立した江戸幕府にとって、各地の大名が勝手に戦力を増強したり、政略結婚によって勢力圏を広げたりすることは政権維持の大きなリスクでした。そのため、築城の禁止や婚姻の許可制を通じて、大名の行動を厳格に管理下に置く必要がありました。これが武家諸法度の制定目的です。
問11	答え 4 実用的な学問である「実学」を奨励し、農業や天文などの知識を国内の産業や暦の改良に役立てるため	徳川吉宗は、幕府の財政を立て直すために産業の発展を重視しました。その一環として、キリスト教の布教に繋がらない科学技術や医学などの実用的な知識が書かれた漢訳の西洋書籍（漢訳洋書）に限り、輸入制限を緩めました。この政策は、のちに杉田玄白らが活躍する「蘭学」が発展する重要なきっかけとなりました。
問12	答え 3 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した	徳川家康が江戸幕府を開いて以降、幕府は「武家諸法度」によって大名を統制し、厳しい身分制度を敷くことで社会を安定させました。このように幕府と各藩が土地と民衆を二重に支配する「幕藩体制」が構築されたことで、中世のような武力による勢力争いが鎮まり、長期間にわたる平和な社会が実現しました。
問13	答え 4 俵物	江戸時代、幕府は海外貿易による金銀の流出を抑制するため、貴金属に代わる輸出品の確保を急ぎました。徳川吉宗は、当時の中華料理の食材として清（中国）で高く評価されていた海産物を「俵物」としてブランド化し、これらを積極的に輸出することで貿易バランスの改善を図りました。これは享保の改革における重要な対外経済政策の一つです。

- 問1 江戸時代後期、五街道などの交通網が整備されたことで庶民の旅が普及し、各地の風俗や旅の様子を題材にした作品が人気を集めました。この時期に十返舎一九によって執筆され、弥次郎兵衛と喜多八の二人が江戸から伊勢参りなどへ向かう道中を面白おかしく描いた滑稽本の名称として正しいものを選んでください。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 平家物語 2. 奥の細道 3. 南総里見八犬伝 4. 東海道中膝栗毛
- 問2 江戸幕府が大名による謀反（反乱）を防止するために、参勤交代とあわせて実施した「大名の家族」に関する措置として正しいものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 大名の妻を、1年ごとに京都の朝廷へ派遣させた 2. 大名の妻子が領地から出ることを厳格に禁止した 3. 大名の長男を將軍の養子として、幕府の役職に就かせた 4. 大名の妻や子を人質として、常に江戸に住まわせた
- 問3 江戸時代中期、本居宣長らによって大成された学問に関する説明として正しいものはどれですか。この学問は、儒教や仏教などの外来思想が日本に広まる前の、日本古来の文献を研究することで、日本独自の精神や伝統を明らかにしようとしてしました。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. キリスト教の教えを基盤に、西洋の文化や学問を学ぶ洋学 2. 日本固有の古典を研究し、日本独自の精神を追求した国学 3. 武士の道徳として、君臣の別や上下関係を重視した儒学 4. オランダ語を通じて、西洋の医学や科学技術を学ぶ蘭学
- 問4 18世紀前半、8代將軍の徳川吉宗が幕府の財政を立て直すために行った「享保の改革」では、政治や裁判の仕組みを整えるための様々な施策が実施されました。この改革で行われた、庶民の意見を政治に反映させるための仕組みと、裁判の公平な基準を定めた法令の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 旗本や御家人の生活を救うために借金を帳消しにした「棄捐令」と、裁判を迅速に進めるための「公事方御定書」 2. 庶民の訴えを直接聞くために設置された「目安箱」と、裁判の基準をまとめた「公事方御定書」 3. 裁判の基準を定めた「公事方御定書」と、商人の独占を禁止するための「株仲間の解散」 4. 物価を抑えるために命じられた「株仲間の解散」と、庶民の意見を政治に反映させるための「目安箱」
- 問5 18世紀後半、老中の松平定信が行った「寛政の改革」において、幕府の教育機関である聖堂学問所にて朱子学以外の講義を禁じた政策を何と呼ぶか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 慶安の御触書 2. 寛政異学の禁 3. 公事方御定書 4. 株仲間の解散
- 問6 江戸時代の経済の仕組みにおいて、諸藩が大阪などの蔵屋敷に運び込んだ年貢米や特産物の売却や、代金の管理を担った有力な商人を何と呼びますか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 蔵元・掛屋 2. 札差 3. 問屋・仲買 4. 株仲間
- 問7 18世紀後半の福岡藩の家計支出を分析した記録によると、領地と江戸の往復にかかる費用が約16%、江戸での滞在費が約27%に達しており、合計で支出の4割以上を占めていました。幕府が大名に対して、このような多額の費用を要する制度を課した主な理由として、適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 全国の街道を整備するための資金を、大名たちの通行料によって賄うため。 2. 大名の家族を江戸に集めることで、身分の高い者同士の交流を深めさせるため。 3. 大名の経済力をそぐことで、幕府に反抗する軍勢力を蓄えさせないようするため。 4. 江戸の特産品を地方に広めることで、全国の産業を均一に発展させるため。
- 問8 江戸時代中期、問屋などの商人が農民に対して原料や道具、資金などを貸し出し、農民が自宅で製品を加工した後に、商人がその製品を買い取って手間賃を支払うという生産形態を何といいますか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 問屋制家内工業 2. 家内制手工業 3. 工場制手工業 4. 機械工業
- 問9 江戸時代、貨幣経済の発展にともない、各藩は領内で徴収した年貢米や特産物を貨幣に換える必要がありました。そのために、大坂などの都市に設置され、物資の保管や販売の拠点となった、倉庫を兼ねた邸宅を何と呼びますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
1. 札差 2. 蔵屋敷 3. 本陣 4. 問屋
- 問10 江戸時代、武家諸法度により「大名は一年おきに領地と江戸を往復すること」が義務付けられました。ある藩の統計において、この制度に関わる江戸での経費が藩全体の支出の約3割以上に達するなど、各地の藩にとって大きな経済的負担となったこの制度の名称を答えなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 地租改正 2. 朱印船貿易 3. 門領制 4. 参勤交代
- 問11 江戸時代中期に、幕府が貨幣の含有率を下げた大量の貨幣発行を行った結果、当時の社会や経済にどのような影響を及ぼしたと考えられますか。その因果関係として適切なものを選びなさい。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 貨幣の発行量が増えたことで、武士が受け取る米の価値が相対的に高まり、武士の財政が潤った。 2. 金や銀の純度を下げたことで海外への支払いが容易になり、長崎での貿易額が飛躍的に増大した。 3. 貨幣の信用が高まったことで、農村部での物価が下落し、自給自足の生活が再び強まった。 4. 市場に流通する貨幣の量が増えた一方で、貨幣1枚あたりの価値が下がり、物価が上昇した。
- 問12 1783年のパリ条約によって独立が認められた後、1787年に制定されたアメリカ合衆国憲法において、政治の基本的な仕組みとして取り入れられた考え方はどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 人民の抵抗権や革命権を認め、各州からの独立を正当化する自然法思想 2. 大統領にすべての権限を集中させ、各州の自治権を廃止する中央集権制 3. 国王は君臨すれども統治せずという原則に基づく議会政治 4. 立法・行政・司法の各権力を独立させ、互いに抑制し合わせる三権分立
- 問13 松平定信が行った「寛政の改革」の内容について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 江戸や大坂周辺の領地を幕府直轄領にしようとする「上知令」を出し、大名や旗本の反発を招いた。 2. 飢饉に備えて各地に米を蓄えさせる「囲米」を命じ、江戸に流入した農民に資金を与えて帰村を促す「旧里帰農令」を出した。 3. 全国の物価を抑えるために、商人による組合である「株仲間」を全面的に解散させた。 4. 財政難を解消するために、大名に対して石高1万石につき100石の米を献上させる「上げ米の制」を導入した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 東海道中膝栗毛	江戸時代後期の化政文化期に登場した十返舎一九の代表作です。当時の社会では、幕府による五街道の整備や経済の発展を背景に、庶民が「伊勢参り」などの名目で旅をすることが流行していました。この作品は、そうした時代背景を反映し、二人の主人公による珍道中をコミカルに描くことで、当時の庶民の間で爆発的な人気を博しました。
問2	答え 4 大名の妻や子を人質として、常に江戸に住まわせた	幕府は大名の忠誠を誓わせるため、大名の正妻と世継ぎを「人質」として江戸の屋敷に住ませました。これにより、地方の大名が幕府に対して勝手な行動をとれないように監視を強め、幕藩体制の安定を図りました。
問3	答え 2 日本固有の古典を研究し、日本独自の精神を追求した国学	江戸時代、賀茂真淵や本居宣長らは、仏教や儒教といった国外から伝わった教えに染まる前の、日本人本来の心やあり方を探ろうとしました。この学問は「国学」と呼ばれ、日本のアイデンティティを再確認する運動として発展しました。
問4	答え 2 庶民の訴えを直接聞くために設置された「目安箱」と、裁判の基準をまとめた「公事方御定書」	徳川吉宗による享保の改革では、幕府の独善的な政治を避け、実情を把握するために「目安箱」を設置して庶民の意見を広く求めました。ここから小石川養生所の設置などの成果が生まれました。また、それまで基準が曖昧だった裁判を公平に行うため、判例に基づいた法律集である「公事方御定書」を制定しました。選択肢に含まれる「旗本・御家人の借金帳消し（棄捐令）」は寛政の改革、「株仲間の解散」は天保の改革における代表的な政策であり、享保の改革の内容とは異なります。
問5	答え 2 寛政異学の禁	松平定信は、儒学の中でも秩序や礼儀を重んじる朱子学を幕府公認の学問と決めました。これ以外の学説を教えることを禁じることで、武士の思想を統一し、幕閣や役人としての規律を高めようとしてしました。選択肢にある「公事方御定書」は享保の改革、「株仲間の解散」は天保の改革の内容です。
問6	答え 1 蔵元・掛屋	蔵屋敷の実務は専門の商人に委託されていました。商品の管理や売却を担う「蔵元」や、現金の出納や送金を担う「掛屋」は、諸藩の財政運営において不可欠な存在となり、武士に対しても強い経済的影響力を持つようになりました。
問7	答え 3 大名の経済力をそぐことで、幕府に反抗する軍事を蓄えさせないようにするため。	参勤交代による膨大な旅費や江戸での生活費は、各藩の財政にとって非常に重い負担となりました。幕府はこれにより大名の富を消費させ、武器の蓄えや軍備の増強といった反乱の準備をさせないようにする政治的な意図を持っていました。結果として、江戸時代を通じて大規模な内乱が抑制される要因の一つとなりました。
問8	答え 1 問屋制家内工業	商人が主導権を握り、農村の労働力を利用して商品を生産させる仕組みです。農家にとっては副業として現金収入を得る手段となり、商人にとっては市場の需要に合わせて効率よく製品を確保できる利点がありました。
問9	答え 2 蔵屋敷	江戸時代の諸藩は、財政を維持するために領内の米や特産物を都市部で売却して現金化する必要がありました。そのための拠点として、特に物流の拠点であった大坂には多くの「蔵屋敷」が置かれました。ここには各藩から派遣された蔵役人や、委託を受けて販売を行う蔵元・掛屋といった商人たちが関わっていました。
問10	答え 4 参勤交代	江戸幕府の第3代将軍・徳川家光のときに確立された「参勤交代」は、大名が1年ごとに江戸と自領を往復する制度です。大名行列を伴う移動には莫大な旅費がかかり、さらに江戸の藩邸に滞在する費用も必要だったため、藩の財政において非常に大きな比重を占めました。この制度により、大名が経済的に困窮する一方で、街道の整備や江戸の都市文化の発展、さらには全国的な貨幣経済の浸透が促されるという側面もありました。
問11	答え 4 市場に流通する貨幣の量が増えた一方で、貨幣1枚あたりの価値が下がり、物価が上昇した。	貨幣の質を落として流通量を急激に増やすと、貨幣そのものの価値が低下します。これにより、同じ商品を購入するのにより多くの貨幣が必要になるため、物価が上昇する現象が起きました。これは現代で言うインフレーションに近い状態で、庶民の生活を圧迫する要因となりました。
問12	答え 4 立法・行政・司法の各権力を独立させ、互いに抑制し合わせる三権分立	アメリカ合衆国憲法は、モンテスキューが唱えた三権分立の原則を世界で初めて厳格に採用した憲法です。これは、特定の個人や機関に権力が集中して専制政治が行われるのを防ぎ、市民の自由を保障することを目的としています。独立宣言が独立の正当性を主張した文書であるのに対し、この憲法は国家の具体的な統治システムを定めたものです。
問13	答え 2 飢饉に備えて各地に米を蓄えさせる「困米」を命じ、江戸に流入した農民に資金を与えて帰村を促す「旧里帰農令」を出した。	寛政の改革では、天明の飢饉の教訓から、諸大名に米の備蓄を命じる「困米」や、農村の復興を目指して江戸の農民を故郷へ帰す「旧里帰農令」が行われました。他の選択肢は、享保の改革（上げ米の制）や天保の改革（上知令、株仲間の解散）に関する記述です。

- 問1 18世紀後半にフランスで発表された「人権宣言」の内容や背景に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 第一次世界大戦後の混乱の中で、労働者の権利や人間らしい生活を営む権利である「社会権」を規定した。 | 2. 名誉革命において、国王が議会の同意なしに法律を停止することや、勝手に課税することを禁じた。 | 3. 絶対王政による支配を打破しようと、自由・平等や私有財産の不可侵、人民主権などを主張した。 | 4. イギリス本国による重税に反対した植民地の人々が、生命・自由・幸福の追求などの権利を主張した。 |
|---|--|---|---|
- 問2 江戸時代の商工業組織である「株仲間」に関連する出来事について、歴史的な因果関係を説明した文として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 幕府が株仲間を解散させたことで、農村での綿織物などの生産が禁止され、これが原因で「百姓一揆」が頻発するようになった。 | 2. 織田信長が株仲間を公認して税を免除したことで、城下町の商業が発展し、これが後に田沼意次の経済政策へと引き継がれた。 | 3. 株仲間の結成により、商人が生産者に原料を貸し付けて製品を独占する「座」の仕組みが完成し、これが明治時代の産業革命の基礎となった。 | 4. 田沼意次は株仲間を奨励して商業を活性化させたが、後の天保の改革では、物価高騰の原因であるとして水野忠邦により解散を命じられた。 |
|---|--|---|--|
- 問3 3代将軍・徳川家光の時代に制度化された、大名が1年おきに江戸と自らの領地を往復する「参勤交代」の説明として、その仕組みや影響を正しく述べているものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 大名の妻子を人質として江戸に住まわせ、さらに往復や江戸での生活に多額の費用を負担させることで、大名の経済力を削ぎ、反抗を抑えた。 | 2. 大名が1年ごとに幕府の役人を入れ替わりで自らの領地を管理することで、政治の腐敗を防ぐことを目的としていた。 | 3. 大名の経済力を高めるために、全国の特産物を江戸へ運ぶ大規模な交易ルートを幕府が主導して整備させる制度であった。 | 4. 農民が自らの領地を離れて江戸へ出稼ぎに行くことを公式に認めることで、幕府が直轄地での労働力を確保するための仕組みであった。 |
|---|--|--|--|
- 問4 江戸時代には五街道などの交通網が整備されました。これらの街道を利用し、手紙や公文書、荷物などを運搬した職を何と呼びますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 駕籠掻き | 2. 飛脚 | 3. 車夫 | 4. 馬子 |
|---------|-------|-------|-------|
- 問5 徳川吉宗が実施した「上げ米の制」は、幕府の財政収入を増やす一方で、大名側にも配慮した交換条件が設けられていました。その仕組みについて正しく説明しているものを選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 米を納める代わりに、長崎での貿易を自由に行う権利を与え、商業による利益を認めた。 | 2. 米を納める代わりに、大名が幕府から借りていた借金をすべて帳消しにする「棄捐令」を発令した。 | 3. 1万石につき100石の米を納めさせる代わりに、参勤交代による江戸での滞在期間を半年間に短縮した。 | 4. 1万石につき100石の米を納めさせる代わりに、年貢の取り立てを農民に委ねる権限を与えた。 |
|---|--|---|---|
- 問6 19世紀初め（文化・文政期）を中心に、江戸の庶民の間で流行した「化政文化」について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 書院造の建物の中で行われる茶の湯や、枯山水の庭園を鑑賞する文化が、地方の農民にまで浸透した。 | 2. 南蛮貿易の影響を強く受けたキリスト教的な価値観に基づく衣服や生活習慣が、江戸の町人の主流となった。 | 3. 浮世絵、落語、相撲、川柳といった、庶民の生活や感情を反映した娯楽や文芸が広く親しまれた。 | 4. ふすまや屏風に季節の移り変わりを描く日本独自の大和絵が、貴族の間で最も重要な娯楽とされた。 |
|---|--|---|--|
- 問7 日本の歴史における政治体制や社会状況の変化を説明した以下の4つの記述を、年代の古い順に正しく並べ替えたものはどれですか。 1. 藤原道長が摂政となり、摂関政治が最盛期を迎える一方で、地方政治の乱れが顕著になった。 2. 源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、諸国に軍事・警察を担う役職、荘園には年貢の徴収などを行う役職を配置した。 3. 豊臣秀吉が全国を統一し、太閤検地や刀狩を通じて武士と百姓の身分を明確に区別する社会の仕組みを整えた。 4. 老中の水野忠邦が、幕府の権威回復と財政立て直しを目指し、株仲間の解散などの改革を行った。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 1. 1 → 2 → 4 → 3 | 2. 2 → 1 → 3 → 4 | 3. 1 → 3 → 2 → 4 | 4. 1 → 2 → 3 → 4 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|
- 問8 杉田玄白らが『解体新書』を出版するに至った背景や過程について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 鎖国体制を打破し、開国を促すための政治的なパンフレットとして、西洋の先進的な科学技術を紹介した。 | 2. 刑場での処刑に立ち会い、人体の内部がオランダ語の医学書の図と一致することを確かめた上で翻訳を行った。 | 3. 幕府の公式な命令を受け、長崎の出島に滞在していたドイツ人医師シーボルトから直接指導を受けて翻訳した。 | 4. 中国から伝わった漢方医学の知識が西洋医学よりも優れていることを証明するために、対比資料として出版した。 |
|---|---|---|--|
- 問9 「唐から帰国し比叡山延暦寺を拠点に天台宗を広めた人物」、「関ヶ原の戦いに勝利して江戸幕府を開いた人物」、「昌平坂学問所において朱子学を奨励するなどの寛政の改革を行った人物」の3名について、活躍した時代の古い順に正しく並べたものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 最澄 → 徳川家康 → 松平定信 | 2. 徳川家康 → 松平定信 → 最澄 | 3. 最澄 → 松平定信 → 徳川家康 | 4. 徳川家康 → 最澄 → 松平定信 |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
- 問10 江戸時代、ある政治家の改革があまりに厳格だったため、「白河の清きに魚の住みかねてもとのにごりの田沼恋しき」という狂歌が詠まれました。この歌が風刺している当時の政治状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 松平定信が、田沼意次が進めた積極的な経済政策を否定し、農本主義に基づいた厳しい俵約や思想統制を行ったため、人々が以前の自由な気風を懐かしんだ。 | 2. 田沼意次が、賄賂政治を撲滅するために厳しい法律を制定したため、商人が商売をしにくくなり、松平定信の時代のような清廉な政治を求めた。 | 3. 徳川吉宗が、米の価格を安定させるために大名から米を徴収したため、江戸の町人が食糧不足に陥り、田沼意次の時代の豊かな食生活を懐かしんだ。 | 4. 水野忠邦が、株仲間を解散させて物価の引き下げを図ったが、かえって流通が混乱したため、人々が田沼意次の安定した経済政策を高く評価した。 |
|--|--|--|---|
- 問11 田沼意次は、長崎貿易の拡大や蝦夷地の開発計画など、先進的な政策を次々と打ち出しましたが、最終的に彼の政治が行き詰まり、失脚することになった大きな要因は何ですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. イギリスやロシアの船が日本近海に現れるようになり、外国からの開国要求に対処しきれなくなったこと。 | 2. 徳川吉宗が定めた「公事方御定書（くじがたおさだめがき）」に反する独裁的な裁判を繰り返したこと。 | 3. 浅間山の噴火や冷害による「天明のききん」が発生し、各地で百姓一揆や打ちこわしが激化したこと。 | 4. 新田開発が限界に達し、年貢収入が大幅に減少したことで、幕府の財政が完全に破綻したこと。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 絶対王政による支配を打破しようと、自由・平等や私有財産の不可侵、人民主権などを主張した。	フランス革命の最中、1789年に国民議会で採択された人権宣言は、啓蒙思想の影響を受けて、生まれながらの自由と平等、国民主権、私有財産の不可侵などをうたいました。これは、当時の絶対王政という身分制社会を根本から変革しようとするものでした。他の選択肢については、イギリス本国の重税に反対したのはアメリカの独立宣言、議会の同意なしの課税禁止はイギリスの権力の章典、社会権の規定は20世紀のワイマール憲法（ドイツ）に関する記述です。
問2	答え 4 田沼意次は株仲間を奨励して商業を活発化させたが、後の天保の改革では、物価高騰の原因であるとして水野忠邦により解散を命じられた。	株仲間は田沼意次によって積極的に活用されましたが、19世紀前半の天保の改革において、老中の水野忠邦は「株仲間による流通の独占が物価高騰を招いている」と判断し、解散を命じました。しかし、これによってかえって流通が混乱したため、後に再び再興が認められることとなります。織田信長が行ったのは「楽市・楽座」であり、特権的な組織である「座」を廃止する方向の政策でした。
問3	答え 1 大名の妻子を人質として江戸に住ませ、さらに往復や江戸での生活に多額の費用を負担させることで、大名の経済力を削ぎ、反抗を抑えた。	参勤交代は、大名に江戸と領地の往復を義務付け、さらに妻子を江戸に常住させる制度です。大名行列を連ねた移動や江戸での滞在には莫大な費用がかかるため、各藩の財政を圧迫し、幕府に反抗するための軍資金を蓄える余裕を奪うという高度な政治的意図が含まれていました。
問4	答え 2 飛脚	江戸幕府が整備した五街道（東海道・中山道など）において、信書や荷物を運ぶ重要な役割を担ったのが飛脚です。幕府の公文書を運ぶ継飛脚、諸藩が利用した大名飛脚、庶民が利用した町飛脚などの種類があり、江戸と地方を結ぶ通信・輸送手段として機能しました。
問5	答え 3 1万石につき100石の米を納めさせる代わりに、参勤交代による江戸での滞在期間を半年間に短縮した。	当時の幕府は、旗本や御家人の俸禄として支給する米が不足するほど財政が悪化していました。そこで吉宗は、大名から一時的に米を徴収する「上げ米の制」を実施し、その見返りとして大名の経済的負担が最も大きい参勤交代の江戸在府期間を、本来の1年から半年に短縮しました。この制度は財政が一時的に回復したため、のちに廃止され、参勤交代の期間も元に戻されました。
問6	答え 3 浮世絵、落語、相撲、川柳といった、庶民の生活や感情を反映した娯楽や文芸が広く親しまれた。	化政文化は、江戸時代後半の江戸を中心に栄えた、極めて庶民色の強い文化です。歌川広重や葛飾北斎による浮世絵、寄席で演じられる落語、興行として定着した相撲、さらに世相を風刺する川柳などが、町人たちの間で爆発的に普及しました。選択肢にある大和絵は平安時代から続く伝統的な手法であり、南蛮文化は安土桃山時代から江戸初期、書院造や茶の湯は東山文化や桃山文化の特色です。
問7	答え 4 1 → 2 → 3 → 4	1は平安時代の摂関政治、2は鎌倉時代の守護・地頭の設置、3は安土桃山時代の全国統一と兵農分離、4は江戸時代後期の天保の改革を指しています。藤原氏による貴族政治から、源頼朝による武家政治の確立、秀吉による近世社会の基礎固め、そして幕末に向けた幕政改革という歴史の流れを把握することが重要です。
問8	答え 2 刑場での処刑に立ち会い、人体の内部がオランダ語の医学書の図と一致することを確認した上で翻訳を行った。	杉田玄白や前野良沢らは、小塚原の刑場で行われた死体の解剖（腑分け）を見学した際、持参した『ターヘル・アナトミア』の図面が実際の臓器の配置と正確に一致していることに深い感銘を受けました。当時の主流であった漢方医学の知識に疑問を持ち、客観的な事実に基づいた西洋医学の重要性を認識したことが、困難な翻訳作業を決意する動機となりました。この出来事は、日本の学問が実証主義的な方向へ進む大きな転換点となりました。
問9	答え 1 最澄 → 徳川家康 → 松平定信	最澄は平安時代初期に天台宗を広めた人物です。徳川家康は1600年の関ヶ原の戦いを経て1603年に江戸幕府を開いた近世初期の人物です。松平定信は江戸時代中期の18世紀後半に老中として寛政の改革を主導しました。したがって、古代（平安）、近世初期（江戸開府）、近世中期（幕政改革）という時系列になります。
問10	答え 1 松平定信が、田沼意次が進めた積極的な経済政策を否定し、農本主義に基づいた厳しい倅約や思想統制を行ったため、人々が以前の自由な気風を懐かしんだ。	狂歌にある「白河」は松平定信（白河藩主出身）、「田沼」は田沼意次を指しています。田沼意次が株仲間の奨励や長崎貿易の拡大などで経済を活性化させた反面、賄賂が横行した「にごった」政治に対し、松平定信は理想主義的で「清い」が息苦しい政治を行いました。この対比が当時の民衆の不満として表現されています。
問11	答え 3 浅間山の噴火や冷害による「天明のききん」が発生し、各地で百姓一揆や打ちこわしが激化したこと。	田沼意次の時代、1780年代には浅間山の大噴火や冷害が重なり、江戸時代で最大級の「天明のききん」が発生しました。これにより米の価格が急騰し、困窮した農民による百姓一揆や、都市での打ちこわしが頻発しました。こうした社会不安の中で、商業を重視し賄賂（わいろ）が横行していた田沼の政治に対して強い批判が巻き起こり、失脚の決定的な原因となりました。なお、外国船の来航が本格的な問題となるのは田沼の時代よりも後のことです。

- 問1 江戸時代の中期、田沼意次らが積極的に進めた経済政策に関連して、幕府が「株仲間」を公認した仕組みについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 武士が商売に参入することを奨励するため、武士を役員とする組合を組織させた。 | 2. 商工業者に組合結成を認め、冥加金などの税を徴収することで幕府の財政安定を図った。 | 3. 外国との貿易を独占させるために、長崎の商人だけに株仲間の結成を許可した。 | 4. 物価の上昇を抑えることを最優先し、商工業者の組合結成を厳格に禁止した。 |
|--|---|---|--|
- 問2 1637年に九州の島原・天草地方で起こった大規模な一揆の背景として、当時の状況を正しく説明しているものはどれか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 江戸幕府がキリスト教を公認して保護したことで、特権を失った仏教勢力が農民を扇動して反乱を起こさせた。 | 2. 領主が新田開発を強制し、キリスト教から仏教への改宗を拒んだ者に対してのみ減税を行ったために対立が深まった。 | 3. 鎖国政策が緩和され、海外から安価な農作物が流入したことで生活が苦しくなった農民たちが蜂起した。 | 4. 領主による過酷な年貢の取り立てが行われていたことに加え、キリスト教徒に対する激しい迫害が続いていた。 |
|---|--|--|---|
- 問3 百姓一揆の際に作成された「からかさ連判状」において、署名が円形に配置された主な目的として最も適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|------------------------|--------------------|-------------------------|
| 1. 中心人物が誰であるか特定されないようにするため | 2. 将軍への直訴であることを明確にするため | 3. 参加者全員の身分を証明するため | 4. 五人組制度に基づく連帯責任を強化するため |
|----------------------------|------------------------|--------------------|-------------------------|
- 問4 江戸時代の政治において、老中の田沼意次は商工業者が結成した同業者組織を積極的に公認しました。この組織に独占的な営業権を与える見返りとして、幕府が課した税（営業税）を何といいますか。適切な組み合わせを次の中から選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1. 年貢・公事 | 2. 関銭・津料 | 3. 矢銭・段銭 | 4. 運上金・冥加金 |
|----------|----------|----------|------------|
- 問5 武家社会で定められた御成敗式目と公事方御定書の特徴について説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 御成敗式目は唐の法律をそのまま模範にして制定され、公事方御定書は戦国大名が領内を独自に支配するために定められた。 | 2. 御成敗式目は江戸幕府の第8代将軍が制定し、公事方御定書は鎌倉幕府の執権である北条泰時が制定した。 | 3. 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。 | 4. 御成敗式目は天皇や公家の権力を強める目的で制定され、公事方御定書は外国との貿易を規制するために定められた。 |
|---|---|---|--|
- 問6 田沼意次が行った経済政策の背景とその目的について説明した文として、最もふさわしいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 商品作物の栽培を厳しく制限することで、農民を米作りに専念させ、江戸時代初期のような安定した年貢収入を復活させようとした。 | 2. 印旛沼の開拓や長崎貿易の奨励を行ったが、これらはすべて飢饉対策として、幕府が食料の備蓄を直接管理することを目的としていた。 | 3. 貨幣経済が農村まで浸透し、年貢米だけに頼る財政が限界に達していたため、商業資本を利用して幕府の収入源を多様化しようとした。 | 4. 武士の困窮を救うために、徹底した倹約を行わせると同時に、外国との貿易を一切禁止して国内の物価を安定させようとした。 |
|---|--|--|--|
- 問7 1840年代、老中の水野忠邦が行った天保の改革において、幕府の権力を強化するために、江戸や大坂周辺の大名・旗本の領地を幕府の直轄地（天領）にしようとして出された命令を何といいますか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 上知令 | 2. 薪水給与令 | 3. 株仲間の解散 | 4. 人返しの法 |
|--------|----------|-----------|----------|
- 問8 江戸時代の17世紀から18世紀にかけて、新田開発により全国の耕地面積は約2倍に拡大しました。これに伴い、広島藩などで盛んになった綿などの商品作物の栽培において、イワシを加工した「干鰯（ほしか）」の価格が急騰し、1両で購入できる量が約10分の1にまで減少した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 商品作物の収益性を高めるために、高い肥料効果を持つ金肥としての需要が急増したため | 2. 麻の漁網の普及によりイワシの漁獲量が大幅に減り、市場への供給が不足したため | 3. 幕府が年貢の減免を目的として、干鰯を農村に安く配給する制度を廃止したため | 4. 自給自足の農村において、米の代わりとなる主食としての需要が全国的に高まったため |
|---|--|---|--|
- 問9 江戸幕府の第8代将軍である徳川吉宗が、実学（生活や産業に役立つ学問）を奨励するために行った政策として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. 朱子学以外の学問を幕府の学問所で教えることを禁止した。 | 2. 長崎の出島におけるオランダ人との貿易を全面的に禁止した。 | 3. 全国の藩校において、西洋の軍事技術のみを教えるよう命じた | 4. キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。 |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
- 問10 江戸幕府が貿易を管理する仕組みが変化していく過程で、1630年代には将軍の許可だけでなく、さらに厳格な制限が加えられました。朱印状に加えて、長崎奉行が発行する許可証を携行しなくてはならなくなった貿易船を何と呼びますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 遣唐使船 | 2. 奉書船 | 3. 菱垣廻船 | 4. 朱印船 |
|---------|--------|---------|--------|
- 問11 江戸時代の文化は、時期によって担い手や表現技法が変化しました。江戸時代後期に登場した、多色刷りによる鮮やかな色彩が特徴の木版画を何と呼びますか。また、その代表的な作者を選びなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|------------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 名称：錦絵、作者：喜多川歌麿 | 2. 名称：浮世絵（肉筆画）、作者：菱川師宣 | 3. 名称：障壁画、作者：狩野内膳 | 4. 名称：水墨画、作者：雪舟 |
|-------------------|------------------------|-------------------|-----------------|
- 問12 江戸時代後期に書かれたある物語では、弥次郎兵衛と喜多八という二人の人物が伊勢参りに向かう道中を面白おかしく描いており、当時の庶民の間で大流行しました。この作品の作者は誰ですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 松尾芭蕉 | 2. 十返舎一九 | 3. 井原西鶴 | 4. 木居宣長 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問13 17世紀後半のイギリスで名誉革命が達成されたことにより、世界に先駆けて確立された「立憲君主制」の仕組みについて説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 複数の国々が対等な立場で同盟を結び、共通の法律を制定する仕組み | 2. 国王が神から授かった絶対的な権限を持ち、すべての法律を決定する仕組み。 | 3. 国王を完全に廃止し、国民が選んだ代表者のみが政治を行う仕組み。 | 4. 国王が憲法や法律に基づき、議会の承認を得て政治を行う仕組み。 |
|------------------------------------|--|------------------------------------|-----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 商工業者に組合結成を認め、冥加金などの税を徴収することで幕府の財政安定を図った。	田沼意次の時代には、商業の力を利用して幕府の財政を潤そうとする政策がとられました。商工業者が組織した「株仲間」を公認し、彼らに営業の独占権を与える一方で、その対価として税を納めさせる仕組みを整えました。これは、従来の年貢だけに頼る財政構造から脱却し、商業資本から直接的に税を吸い上げることを意図したものでした。
問2	答え 4 領主による過酷な年貢の取り立てが行われていたことに加え、キリスト教徒に対する激しい迫害が続いていた。	この一揆は、領主による重い年貢の徴収という経済的な苦しみと、キリスト教徒（クリシタン）への厳しい迫害という信仰上の弾圧が重なったことで発生しました。天草四郎を首領として約3万7千人が原城に立てこもりましたが、幕府軍によって鎮圧されました。この事件を機に、江戸幕府はキリスト教の禁止をより徹底し、鎖国体制を完成させる方向へと政策を強めていくことになります。
問3	答え 1 中心人物が誰であるか特定されないようにするため	一揆の首謀者は極刑などの重い罰を受けるため、署名の順序をなくして円形にすることで、誰が指導者であるかを隠す意図がありました。また、参加者全員が対等に団結し、同等の責任を負うことを示す意味合いも含まれています。
問4	答え 4 運上金・冥加金	田沼意次は、商工業者の同業者組織である「株仲間」を公認し、営業の独占権を認める代わりに「運上金（うんじょうきん）」や「冥加金（みょうがきん）」と呼ばれる税を課しました。これにより、従来の年貢（農業収入）だけに頼っていた幕府の財政を、商業資本からの収入によって立て直そうとしたのが特徴です。中世の「座」が寺社や公家に奉仕して得ていた特権とは異なり、近世では幕府や藩という公権力が商人を統制・利用した点に違いがあります。
問5	答え 3 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。	御成敗式目は北条泰時が武士社会の道理や慣習をもとに定めた鎌倉幕府の裁判基準です。公事方御定書は徳川吉宗の時代に公判や刑罰の基準を統一・明確化するために定められました。
問6	答え 3 貨幣経済が農村まで浸透し、年貢米だけに頼る財政が限界に達していたため、商業資本を利用して幕府の収入源を多様化しようとした。	江戸時代中期以降、貨幣経済の発達により、農業を基盤とする幕府の財政は行き詰まっていました。田沼意次は、商人の力を活用して株仲間の結成、印旛沼の開拓、蝦夷地の調査、長崎貿易の拡大などを進め、商業の活性化を通じて財政を立て直そうとしました。しかし、こうした政策は賄賂の横行を招いたとして、のちに松平定信らによって批判の対象となりました。
問7	答え 1 上知令	水野忠邦は幕府の財政基盤を固め、軍事・経済の要所である江戸や大坂の支配を強めるために、周辺の土地を直轄地にするこの命令を出しました。しかし、領地を差し出すことになる大名や旗本、さらには農民たちからも激しい反対を受け、実施できずに終わりました。これが原因の一つとなり、水野忠邦は失脚することになりました。
問8	答え 1 商品作物の収益性を高めるために、高い肥料効果を持つ金肥としての需要が急増したため	江戸時代中期、新田開発によって農地が広がると、米以外に綿や菜種といった市場で販売するための「商品作物」の栽培が活発になりました。これらの作物を効率よく大量に生産するためには、従来の刈敷（かりしき）などの自給肥料ではなく、干鰯や油かすのように現金で購入する「金肥（かなごえ）」が必要不可欠となりました。麻の漁網の普及によってイワシの漁獲量自体は増えていましたが、それを上回る勢いで農村部での肥料需要が高まったことが、干鰯の価格高騰を招きました。
問9	答え 4 キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。	徳川吉宗は享保の改革において、幕府の財政再建とともに産業の発展を目指しました。その一環として、天文や医療、農業といった実用的な知識を取り入れるため、それまで厳しく制限されていた漢訳洋書（西洋の書籍を中国語に翻訳したもの）のうち、キリスト教に関係のないものについては輸入を認め、学問の発展を促しました。
問10	答え 2 奉書船	幕府はキリスト教の伝播を防ぎ、貿易の統制を強めるため、1633年に朱印状に加えて長崎奉行が発行する「奉書」という副申状を必要とする制度を整えました。これを「奉書船貿易」といい、これ以降、日本人の海外渡航や帰国が段階的に制限され、いわゆる「鎖国」の状態へと近づいていくことになります。
問11	答え 1 名称：錦絵、作者：喜多川歌麿	江戸時代後期（化政文化の時期など）には木版画の技術が高度に発達し、それまでの単色や少ない色数の刷り物から、多色刷りの「錦絵」へと進化しました。喜多川歌麿はこの錦絵の技法を用いて、繊細な美人画を数多く描きました。これに対し、菱川師宣は江戸時代前期に浮世絵というジャンルを確立しましたが、当時はまだ手書きの肉筆画や単色刷りが中心でした。雪舟は室町時代の水墨画、狩野内膳は安土桃山時代の屏風画の人物であり、時代が異なります。
問12	答え 2 十返舎一九	江戸時代後期の化政文化では、庶民の旅や日常生活をユーモアたっぷりに描いた「滑稽本」というジャンルが人気を博しました。十返舎一九が書いた『東海道中膝栗毛』はその代表作であり、伊勢参りという当時の庶民の憧れを題材にしています。井原西鶴は元禄文化期に「浮世草子」を執筆した人物であり、時代背景や作品の性質が異なるため注意が必要です。
問13	答え 4 国王が憲法や法律に基づき、議会の承認を得て政治を行う仕組み。	名誉革命後のイギリスでは、1689年の「権利の章典」によって国王の権限が厳しく制限されました。これにより、国王は「君臨すれども統治せず」という原則のもと、憲法や法律の枠内で議会を尊重して政治を行う「立憲君主制」が整えられました。これは、フランス革命などで見られた「共和制」とは異なり、国王という存在を維持しながら議会政治を行う形です。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 朱印状	徳川家康は幕府の財政基盤を固めるとともに、貿易を統制下に置くため、将軍の朱印（赤い印）が押された「朱印状」を発行しました。これを持った船による貿易を朱印船貿易と呼びます。室町時代に明との貿易で使われた「勘合」と混同しやすいため、時代背景や発行主体の違いを理解しておく必要があります。
問2	答え 4 領主による過酷な年貢の取り立てが行われていたことに加え、キリスト教徒に対する激しい迫害が続いていた。	この一揆は、領主による重い年貢の徴収という経済的な苦しみと、キリスト教徒（キリシタン）への厳しい迫害という信仰上の弾圧が重なったことで発生しました。天草四郎を首領として約3万7千人が原城に立てこもりましたが、幕府軍によって鎮圧されました。この事件を機に、江戸幕府はキリスト教の禁止をより徹底し、鎖国体制を完成させる方向へと政策を強めていくこととなります。
問3	答え 3 キリスト教の布教を完全に遮断し、幕府による国内支配をより確実なものにするため	幕府は島原・天草一揆がキリスト教徒の強い団結によって長期化したことを重く受け止め、禁教をさらに徹底させる必要性を認識しました。そのため、1639年に布教と貿易を密接に結びつけていたポルトガル船の来航を禁止し、いわゆる「鎖国」の状態をほぼ完成させました。スペインについては1624年に既に来航を禁止しています。
問4	答え 3 商人の同業者組織である株仲間を積極的に公認し、彼らに運上金や冥加金という税を課した。	田沼意次は、それまでの年貢（農業）中心の財政から、商業の利益を吸い上げる財政への転換を目指しました。その一環として、商人の同業者組織である「株仲間」を公認して独占販売権などの特権を与える代わりに、税（運上金・冥加金）を納めさせました。これは、新田開発や長崎貿易の拡大と並んで、田沼時代の重商主義的な政策を象徴する取り組みです。
問5	答え 3 風神雷神図屏風	俵屋宗達は元禄文化に先駆け、金箔を背景に用いるなど豪華で装飾的な「琳派」の源流を作りました。水墨画を特徴とする室町時代の雪舟とは作風が大きく異なります。なお、紅白梅図屏風は、のちに俵屋宗達の影響を受けた尾形光琳によって描かれた作品です。
問6	答え 2 武士の借金を帳消しにする棄捐令を出し、農村の復興のために都市の農民を帰らせる旧里帰農令を定めた。	松平定信は、田沼意次の後の政治を担い、困窮した旗本・御家人を救済するために借金を帳消しにする棄捐令を出しました。また、飢饉などで荒廃した農村を立て直すため、江戸に流入した農民に資金を与えて村に帰す旧里帰農令を出すなど、保守的な緊縮財政政策をとりました。株仲間の奨励は田沼意次の政策であり、松平定信はむしろこれらを抑制する傾向にありました。
問7	答え 1 大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱を防ぐとともに、江戸への忠誠を示させるため	この制度は、大名に莫大な旅費や江戸での滞在費を負担させることで、幕府に対抗するだけの経済的な余裕を奪う政治的な目的がありました。また、将軍への服従を示す儀礼的な意味合いも強く、幕府の権威を全国に知らしめる役割を果たしました。
問8	答え 1 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。	江戸時代の三大改革（享保・寛政・天保）は、いずれも貨幣経済の浸透による武士の困窮や、冷害などの災害による農村の荒廃、それに伴う幕府財政の悪化という共通の課題に直面していました。そのため、支出の抑制（質素倹約）や収入の安定（年貢の確保・増収）を共通の目的として、幕府の権威を再構築しようとしたものです。
問9	答え 4 大宝律令	大宝律令は701年（飛鳥時代）に制定された律令で、選択肢の中で最も古い法規範です。御成敗式目は1232年（鎌倉時代）、分国法は戦国時代、公事方御定書は1742年（江戸時代）にそれぞれ制定されました。
問10	答え 3 貨幣経済の浸透により力をつけた町人たちが、自分たちの実生活に近い娯楽を求めたため。	江戸時代前期は、農業生産力の向上や貨幣経済の発展を背景に、特に大阪や京都などの都市部で町人の経済力が飛躍的に向上しました。これにより、貴族や武士だけのものではない、町人の価値観や日常の損得勘定を反映した「浮世草子」のような文化が成立・普及する社会的基盤が整いました。
問11	答え 2 キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。	徳川吉宗は享保の改革において、幕府の財政再建とともに産業の発展を目指しました。その一環として、天文や医療、農業といった実用的な知識を取り入れるため、それまで厳しく制限されていた漢訳洋書（西洋の書籍を中国語に翻訳したもの）のうち、キリスト教に関係のないものについては輸入を認め、学問の発展を促しました。
問12	答え 4 江戸や大坂周辺の大名や旗本の領地を、幕府の直轄地にするよう命じた。	この命令は「上知令（あげちれい）」と呼ばれます。経済の重要拠点である江戸や大坂の周辺を幕府が直接支配することで、財政の安定と国防の強化を図ろうとしましたが、領地を失う大名や旗本から猛烈な反発を受け、改革が失敗する大きな要因となりました。選択肢の「人返し」や「異国船打払令」も天保期に関わる政策ですが、領地に関する命令はこの上知令を指します。
問13	答え 1 大名の軍事力の増大や無断の連携を防ぎ、幕府による全国的な統制を強めるため	江戸幕府は、強力な権限を持つ大名たちが再び反乱を起こさないよう、武家諸法度を制定しました。城の修理を制限したのは軍事拠点の強化を防ぐためであり、婚姻を許可制にしたのは大名同士が幕府に無断で強力な同盟を結ぶことを防ぐためです。これらを通じて、幕府は大名に対する絶対的な支配権を確立しようとした。

- 問1 江戸時代中期、幕府は長崎における中国（清）との貿易において、来航する船の数や貿易額に制限を設けました。このような制限を行った背景として最も適切な理由はどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- 貿易の決済手段として使われていた金・銀・銅の海外流出を防ぐため
 - 中国船がキリスト教の宣教師を日本へ密航させていることが発覚したため
 - 中国から伝来する儒学の思想が幕府の支配体制を脅かすと考えたため
 - 国内の農業技術が向上し、中国から農産物を輸入する必要がなくなったため
- 問2 江戸幕府が鎖国体制を築く中で、長崎の出島に商館を置くことを認め、ヨーロッパの国の中で唯一貿易を継続した国はどこですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
- フランス
 - スペイン
 - ポルトガル
 - オランダ
- 問3 江戸幕府の3代将軍徳川家光は、初代将軍徳川家康を神として祀るため、ある神社の社殿を大規模に造り替え、漆や金箔、精巧な彫刻を多用した豪華絢爛な姿へと一新させました。この建物の名称を次の中から選びなさい。（2016年 山形県公立入試 類似）
- 鹿苑寺金閣
 - 東大寺大仏殿
 - 日光東照宮
 - 慈照寺銀閣
- 問4 戦国時代の混乱を終結させ、長きにわたる平和な江戸時代を築いた徳川家康が、幕府を開くために行った政治的な背景や仕組みとして最も適切な説明を選択してください。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）
- 豊臣秀吉の制度をすべて廃止し、全国の土地を全て幕府の直轄地とすることで、大名の反乱を物理的に不可能にした。
 - 関ヶ原の戦いで石田三成を倒した後、朝廷から関白に任命されることで、天皇に代わって全ての政治を行う権利を得た。
 - 朝廷から征夷大將軍に任命されることで、全国を支配する法的・権威的な根拠を得て、江戸に政治の拠点を置いた。
 - 有力なキリスト教大名を保護することで、西洋諸国との直接貿易を独占し、その経済力を背景に全国を統治した。
- 問5 江戸時代後半、幕府の命令を受けて日本全国の沿岸部を実際に歩いて測量し、西洋の科学的な手法を取り入れることで、当時の世界水準に匹敵する極めて精巧な日本地図を完成させた人物は誰ですか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
- 本居宣長
 - 間宮林蔵
 - 杉田玄白
 - 伊能忠敬
- 問6 江戸時代の大阪が「天下の台所」として繁栄した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 島根県公立入試 類似）
- 幕府が、江戸の食料不足を解消するために、全ての物資を一度大阪に集めるよう命令を出したから。
 - 鎖国体制下において、大阪が唯一の海外貿易の窓口として外国の特産物を独占的に扱ったから。
 - 将軍が住む江戸の人口が急増したため、大阪の特産物を全て幕府が買い上げて江戸へ送ったから。
 - 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。
- 問7 江戸時代に杉田玄白らによって『解体新書』が翻訳された際、その原著は「オランダ語」で書かれていました。当時、日本において西洋の学問が主にオランダを通じて学ばれた歴史的な背景として、最も適切な説明を選んでください。（2016年 長野県公立入試 類似）
- 鎖国体制下において、幕府が唯一の西洋の貿易相手国として交流を認めていたのがオランダであったため
 - 明治維新以降、政府がドイツの医学制度を導入するまでの間、イギリスが日本の外交を独占していたため
 - キリスト教の布教を目的として来日したオランダ人宣教師が、各地に学校を建てて教育を広めていたため
 - 江戸時代初期から続く朱印船貿易において、オランダが最大の貿易拠点として東南アジアを支配していたため
- 問8 松平定信が、幕府の役人の規律を正し、思想的な統一を図るために行った学問に関する政策として、正しいものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
- 西洋の進んだ医学や天文学を学ぶため、オランダ語による蘭学の研究を幕府の公認とした。
 - 全国の藩校や寺子屋に対して、身分に関わらず共通の教科書を用いるよう義務付けた。
 - 古事記などの古典を研究することで日本古来の精神を尊ぶ国学を、幕府の公式な学問として採用した。
 - 聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。
- 問9 江戸時代の長崎では、外国人の居住や行動が制限されていましたが、特定の場所を通じて高度な文化や学問が伝えられました。その実態について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）
- 出島にいたオランダ人は、幕府の許可なく自由に日本国内を旅して西洋文化を広めた。
 - オランダ商館医であったシーボルトは、制限された環境下で日本人に医学教育を行った。
 - 中国人は長崎の町中に自由に住むことが許され、町民と日常的に交流していた。
 - キリスト教の布教を目的とした宣教師が、長崎を拠点に西洋の天文学を広く教えた。
- 問10 五街道の一つである中山道の坂本宿（現在の群馬県）のように、参勤交代における大名行列の移動を支えるインフラとして、幕府が街道沿いに計画的に整備した町を何と呼びますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- 寺内町
 - 門前町
 - 宿場町
 - 城下町
- 問11 江戸時代の交通網の整備と庶民文化の広がりについて述べた文として、当時の社会状況を正しく説明しているものを次の中から選びなさい。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- 文明開化により鉄道が全国に敷設されたことで、物資の流通が飛躍的に向上し、都市部を中心に西洋風の庶民文化が急速に広まった。
 - 遣隋使の派遣によって大陸の進んだ交通制度が導入され、都を中心とした主要道路が整備されたことで、貴族的な文化が全国へ波及した。
 - 参勤交代の制度によって街道や宿場が整えられたことで、庶民の間でも旅や娯楽を楽しむ余裕が生まれ、風景画などの文化が発展した。
 - 勘合貿易の実施によって大陸から新しい文化や物資が流入し、これらを背景に浮世絵などの新しい芸術様式が庶民の間で確立された。
- 問12 江戸時代の農業において、収穫作業を効率化させ、生産量の増大に寄与した技術的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）
- 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。
 - 「惣村」と呼ばれる自治組織が、高床倉庫を共同管理することで、収穫した米の長期保存と安定供給を実現した。
 - 「口分田」の制度を廃止して農地の私有化を認めたため、農民が自発的に灌漑用水路を整備するようになった。
 - 「石包丁」が改良されて全国に普及したことで、一度に大量の稲を収穫することが可能になった。
- 問13 日本の歴史における各時代の文化や社会状況について述べた説明のうち、奈良時代の事柄として最も適切なものはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）
- 邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、本格的な稲作が全国に広まった。
 - 後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして承久の乱を起こし、浄土宗などの新しい仏教が広まった。
 - 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。
 - 幕府が諸大名を統制するために武家諸法度を定め、町人の間では浮世絵などの文化が栄えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 貿易の決済手段として使われていた金・銀・銅の海外流出を防ぐため	中国（清）からは主に生糸や書籍などが輸入されましたが、その代金として当時の日本は金、銀、銅を支払っていました。これら貴金属の大量流出による国内資源の枯渇を懸念した幕府は、新井白石が制定した「海舶互市新例」などによって貿易量を制限しました。
問2	答え 4 オランダ	幕府はキリスト教の布教を警戒し、1639年にポルトガル船の来航を禁止しました。1641年にはそれまで平戸にあったオランダ商館を出島に移し、オランダを唯一のヨーロッパの貿易相手国と定め、情報の収集と貿易の管理を行いました。
問3	答え 3 日光東照宮	徳川家光は、祖父である家康を「東照大権現」として崇拜し、家康を祀る日光東照宮を現在の壮麗な姿へと改築しました。これは幕府の圧倒的な財力と権威を国内外に示す象徴的な建築物となり、江戸時代初期の文化を代表する遺構の一つです。
問4	答え 3 朝廷から征夷大將軍に任命されることで、全国を支配する法的・権威的な根拠を得て、江戸に政治の拠点を置いた。	家康は武力で全国を制圧しただけでなく、伝統的な権威を持つ朝廷から征夷大將軍という官職を授かることで、全国の大名を統制するための正当性を確保しました。これにより、軍事的な勝利を政治的な安定へとつなげ、江戸を拠点とする長期的な支配体制を構築しました。
問5	答え 4 伊能忠敬	50歳を過ぎてから天文学や測量術を学んだこの人物は、1800年から約17年をかけて全国を測量しました。作成された「大日本沿海輿地全図」は、当時の幕府が国防上の理由から正確な海岸線を把握する必要があったために命じられたものです。選択肢の間宮林蔵は樺太（サハリン）が島であることを確認した人物、杉田玄白は『解体新書』を著した人物です。
問6	答え 4 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。	大名は参勤交代や領国経営のために多額の現金を必要としましたが、当時は年貢（米）が経済の基盤でした。そのため、物流の要所であった大阪に設置した蔵屋敷に米や特産物を集め、そこで活動する「札差」や「両替商」などの有力な商人を介して換金する必要がありました。この仕組みが全国的な物流ネットワークを形成し、大阪を商業の中心地に押し上げました。
問7	答え 1 鎖国体制下において、幕府が唯一の西洋の貿易相手国として交流を認めていたのがオランダであったため	幕府はキリスト教の布教を防ぐため、1639年にポルトガル船の来航を禁止しましたが、貿易のみを目的とするオランダには長崎の出島での居住と貿易を認めました。このため、当時の日本にとって西洋の新しい知識や技術、文化を得るための唯一の窓口がオランダであり、西洋の学問そのものが「蘭学」と呼ばれるようになりました。
問8	答え 4 聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。	松平定信は、儒教の中でも特に上下の秩序を重視する「朱子学」を幕府の正学と決めました。これに基づき、聖堂学問所（のちの昌平坂学問所）での朱子学以外の講義を禁じたのが「寛政異学の禁」です。これは武士の資質向上と体制の安定を目的とした思想統制の一環でした。
問9	答え 2 オランダ商館医であったシーボルトは、制限された環境下で日本人に医学教育を行った。	江戸時代の長崎では、オランダ人は出島、中国人は唐人屋敷に居住が制限されていました。しかし、オランダ商館医として来日したシーボルトは、郊外に鳴滝塾を開くことを許され、そこで多くの日本人門下に西洋医学を教えるなど、制限された環境の中でも重要な文化・学問の交流が行われました。一方で、キリスト教は厳禁されており、宣教師の活動はこの時期には認められていません。
問10	答え 3 宿場町	参勤交代による大規模な行列の移動を円滑に行うため、幕府は五街道を整備しました。街道沿いには宿泊施設や荷物運搬の拠点を備えた宿場（宿場町）が置かれ、大名が泊まる「本陣」や「脇本陣」などが設けられました。これは単なる交通の拠点ではなく、幕府が全国の大名を統制し、情報や物資の流通を管理するための重要な制度的枠組みでした。
問11	答え 3 参勤交代の制度によって街道や宿場が整えられたことで、庶民の間でも旅や娯楽を楽しむ余裕が生まれ、風景画などの文化が発展した。	江戸幕府は大名に江戸と領地を往復させる参勤交代を義務付けたため、五街道などの主要道路や、宿泊施設が並ぶ宿場町が急速に整備されました。この交通インフラの向上は、経済の活性化とともに庶民の移動を容易にし、伊勢参りなどの観光を目的とした旅の文化を育みしました。歌川広重の「東海道五十三次」などの作品は、こうした社会背景の中で広く親しまれ、各地の様子を伝えるメディアとしての役割も果たしました。他の選択肢は、明治時代（鉄道）、室町時代（勘合貿易）、飛鳥・奈良時代（遣隋使）の内容であり、江戸時代の背景とは合致しません。
問12	答え 1 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。	江戸時代には元禄文化の頃を中心に農業技術が大きく発展し、千歯扱きの普及によって脱穀の効率が劇的に改善されました。石包丁や高床倉庫は弥生時代、口分田は律令制（古代）、惣村による水路管理などは主に中世の特徴であり、時代背景が異なります。
問13	答え 3 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。	奈良時代は、平城京を中心に律令国家の仕組みが整えられた時期です。この時代には、天皇の命によって各国の地理や産物、伝承などを記録した報告書である「風土記」が編纂されました。他の選択肢について、邪馬台国や稲作は弥生時代、承久の乱や新しい仏教の普及は鎌倉時代、武家諸法度や浮世絵は江戸時代の事柄であり、時代が異なります。

- 問1 江戸幕府が大名に対し、江戸と領地を一年おきに往来させる参勤交代を武家諸法度で制度化した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 1. 大名に多額の費用を負担させ、幕府に反抗する経済的な余力を奪うため | 2. 大名が海外の勢力と結びつくのを防ぐため、領地への立ち入りを厳しく制限するため | 3. 大名の領地における年貢の徴収を効率化し、幕府の財政を安定させるため | 4. 江戸の商業を活性化させるため、全国の特産物を江戸に集積させることを義務付けるため |
|-------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
- 問2 五代将軍・徳川綱吉の時代を含む江戸時代中期には、農業技術が大きく進歩しました。この時期に普及した、稲の穂から粃（もみ）を効率よく引き落とすことができる金属製の歯がついた農具を選びなさい。
(2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|---------|
| 1. 踏車 | 2. 唐箕 | 3. 備中鍬 | 4. 千歯こき |
|-------|-------|--------|---------|
- 問3 徳川吉宗が制定した「公事方御定書」の役割や特徴について、正しい説明はどれですか。
(2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--|
| 1. 朝廷を監視し、天皇や公家が政治に関与することを防ぐために制定された。 | 2. 5代将軍綱吉による「生類憐みの令」を整理し、生き物を殺生した者への罰則をより明確に定めた。 | 3. 全国の大名に対して、城の修繕や婚姻を厳しく制限し、軍勢力を抑制することを目的とした。 | 4. 奉行たちが裁判を行う際に、恣意的な判断を避け、統一された基準で判決を下せるようにするために編纂された。 |
|---------------------------------------|--|---|--|
- 問4 江戸幕府が18世紀前半に行った享保の改革では、幕府の財政を立て直すために様々な政策がとられました。このうち、新たな耕作地の拡大を目指した政策の目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 株仲間の公認を通じて、商業資本を農村の開発に独占させるため | 2. 幕府領からの年貢収入を増やして、逼迫した財政を改善するため | 3. 倭約令を徹底させることで、農民が消費する米の量を抑えるため | 4. 目安箱に寄せられた意見に基づき、全国の農地に新しい用水路を引くため |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 江戸幕府は17世紀前半、特定の国との関係を断つことで対外政策を強化しました。1639年に発令された、日本への渡航を一切禁じた対象となる船はどれですか。
(2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|----------|-----------|
| 1. イギリス船 | 2. 中国（清）の船 | 3. オランダ船 | 4. ポルトガル船 |
|----------|------------|----------|-----------|
- 問6 1603年に徳川家康が江戸幕府を開いたのち、幕府は大名を統制するために様々な法令や制度を整えました。二代将軍徳川秀忠の代に制定され、城の無断修理の禁止や、婚姻の許可制などを定めた法令の名称として、最も適切なものを選びなさい。
(2016年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|-------------|
| 1. 寺院諸法度 | 2. 武家諸法度 | 3. 慶安の御触書 | 4. 禁中並公家諸法度 |
|----------|----------|-----------|-------------|
- 問7 江戸時代中期の徳川吉宗による享保の改革では、実学を奨励する観点から、キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限が緩和されました。これをきっかけに、オランダ語を通じて西洋の医学や天文学などを研究する学問が盛んになりましたが、この学問を何といいますか。
(2026年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 漢学 | 2. 蘭学 | 3. 朱子学 | 4. 国学 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問8 江戸時代、徳川将軍の居城があり、幕政を司る機関が置かれた江戸は、政治と軍事の中心地として機能していました。このような役割を持つ江戸を指して用いられた通称として、最も適切なものはどれですか。
(2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|------------|----------|
| 1. 八百八橋の都 | 2. 将軍のおひざもと | 3. 蔵屋敷の集積地 | 4. 天下の台所 |
|-----------|-------------|------------|----------|
- 問9 江戸時代、対馬藩の宗氏による仲介を経て朝鮮との国交が回復しました。将軍の代わりごとに、その就任を祝賀するなどの目的で朝鮮から日本へ派遣された使節を何といいますか。
(2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------|----------|--------|
| 1. 琉球からの慶賀使 | 2. 謝恩使 | 3. 朝鮮通信使 | 4. 遣明使 |
|-------------|--------|----------|--------|
- 問10 1600年の関ヶ原の戦い後、徳川家康の命により彦根山の地形を利用して築城が開始された彦根城の城下町について述べた文として、正しいものを選びなさい。
(2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 大規模な新田開発を行うため、城の周囲には広大な田が配置された。 | 2. 戊辰戦争に備えるため、城の西側の地域に武家屋敷が集められた。 | 3. 防御上の役割を担わせるため、城の南側の地域に多くの寺院が集積的に配置された。 | 4. キリスト教の布教を制限するため、城の北側の地域に教会が建設された。 |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問11 江戸時代の庶民文化において、葛飾北斎や歌川（安藤）広重らが描いた「浮世絵」が、広く一般の人々に普及した理由や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 明治時代の黒田清輝らによる西洋画の普及に対抗し、幕府が公立の美術館を建てて展示したため。 | 2. 安土桃山時代の城郭に見られるような、金箔を多用した豪華な障壁画が一般的になったため。 | 3. 木版画の技術が発展したことで、同じ作品を大量に印刷し、安価に販売することが可能になったため。 | 4. 室町時代の雪舟が確立した水墨画の技法を、武士が庶民の教育用として奨励したため。 |
|---|---|---|--|
- 問12 ロシア使節のレザノフが、オランダ商館が置かれ江戸幕府の貿易の窓口となっていた長崎に来航した際、幕府がとった対応とその背景として適切なものはどれですか。
(2021年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を伴わないことを条件に、貿易を許可した。 | 2. 鎖国体制を理由として、ロシアとの通商要求を拒否した。 | 3. 清（中国）との関係を優先するため、ロシア使節の入国自体を禁じた。 | 4. 軍事的な圧力を恐れ、即座に下田と箱館の2港を開港した。 |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
- 問13 1833年から始まった天保のききんが深刻化する中、1837年に大坂で起きた出来事について、その背景と内容を説明したものとして最も適切なものはどれか。
(2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大坂町奉行所の元役人であった大塩平八郎が、ききんに苦しむ人々を救おうとせず江戸へ米を送り続ける奉行所の対応に憤り、弟子らとともに蜂起した。 | 2. 軍学者の由比正雪が、幕府の過酷な武家諸法度による改易で増えた浪人たちを組織し、幕府の転覆を狙って江戸で反乱を計画した。 | 3. 異国船打払令による外国船への攻撃に反対した渡辺崋山や高野長英らが、幕府の鎖国政策を批判して大坂で武力による政治改革を訴えた。 | 4. 天保の改革によって株仲間が解散させられ、物価が急騰したことに抗議した大坂の商人が、奉行所に対して一斉に打ちこわしを行った。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大名に多額の費用を負担させ、幕府に反抗する経済的な余力を奪うため	参勤交代は、大名の妻子を人質として江戸に住まわせるだけでなく、江戸への往復にかかる莫大な旅費や、江戸での滞在費を大名に負担させる仕組みでした。これにより、諸大名の財政を圧迫して軍事力を蓄えられないようにし、幕府に対する反乱を未然に防ぐという政治的・経済的な統制の狙いがありました。
問2	答え 4 千歯こき	江戸時代中期、農業の生産性を高めるために様々な農具が考案・普及しました。千歯こきは、それまで行われていた「こき橋」による作業に比べて脱穀の効率を劇的に向上させた道具です。このほか、深く耕せる備中鍬や、揚水のための踏車などの登場により、農業の集約化が進みました。
問3	答え 4 奉行たちが裁判を行う際に、恣意的な判断を避け、統一された基準で判決を下せるようにするために編纂された。	江戸時代中期になると社会が複雑化し、裁判の数も増加しました。公事方御定書は、裁判を担当する奉行が過去の記録を参考にしながら一貫性のある判断ができるように作られた法典です。これは一般に公開されるものではなく、司法担当者のみが閲覧できる「秘法」としての性質を持っていました。
問4	答え 2 幕府領からの年貢収入を増やして、逼迫した財政を改善するため	江戸時代中期、幕府は深刻な財政難に直面していました。徳川吉宗が行った享保の改革では、財政基盤を安定させるために、幕府領において新たな耕作地を切り拓く新田開発が強力に推し進められました。これにより、幕府が徴収する年貢収納高を直接的に増やすことが意図されていました。
問5	答え 4 ポルトガル船	幕府は1639年にポルトガル船の来航を禁止し、これによって「鎖国」が完成したとされています。当時、ポルトガルはマカオを拠点として日本と貿易を行っていましたが、宣教師を送り込んでキリスト教を広めていたため、幕府はこれを強く拒絶しました。一方、オランダは布教を行わないことを約束したため、長崎の出島での貿易を継続することが許されました。イギリスは1623年に貿易の不振を理由に自ら日本を去っています。
問6	答え 2 武家諸法度	江戸幕府が全国の大名を統制し、軍事力を抑え込むために制定した法律です。文武の奨励といった道徳的な規定だけでなく、城の修繕を届け出制にしたり、無断での婚姻を禁止したりするなど、大名の行動を厳しく制限しました。のちに三代将軍徳川家光によって、参勤交代の規定が追加されるなど、時代に合わせて改訂が行われました。
問7	答え 2 蘭学	8代将軍の徳川吉宗は、実用的な知識を政治や産業に活かすため、それまで厳しく制限されていた西洋の書物（キリスト教関係を除く）の流入を認めました。これにより、唯一の交渉窓口であったオランダの言葉を用いて西洋の技術を学ぶ「蘭学」が発展する土台が築かれました。
問8	答え 2 将軍のおひざもと	江戸は徳川将軍家が直接統治する城下町であり、幕府の所在地として全国の政治を動かす中心地であったことから「将軍のおひざもと」と呼ばれました。これに対し、全国の物資が集まる経済・流通の中心地であった大坂は「天下の台所」と呼ばれ、それぞれ役割が異なっていました。
問9	答え 3 朝鮮通信使	豊臣秀吉による朝鮮侵略（文禄・慶長の役）によって悪化した関係を修復するため、徳川家康は対馬藩を介して交渉を行い、国交を回復させました。この使節は将軍の代替わりという幕府の権威を示す重要な機会に招かれ、江戸まで移動する道中では各地の文化交流も行われました。
問10	答え 3 防御上の役割を担わせるため、城の南側の地域に多くの寺院が集中的に配置された。	彦根城は関ヶ原の戦い後の政治情勢の中で築城が開始されました。城下町の形成において、寺院は広い敷地や頑丈な建物を持つことから、敵の侵入を防ぐ防衛拠点としての役割を期待されました。彦根の城下町では、特に城の南側のエリアに寺院が密集して配置されているのが特徴です。
問11	答え 3 木版画の技術が発展したことで、同じ作品を大量に印刷し、安価に販売することが可能になったため。	浮世絵は、絵師・彫師・刷師の分業による木版画（錦絵）として制作されました。これにより、手書きの絵画とは異なり大量生産が可能になったため、庶民がそばや団子を買うような手軽な価格で手に入れることができ、娯楽として定着しました。
問12	答え 2 鎖国体制を理由として、ロシアとの通商要求を拒否した。	当時の幕府は、対外関係を制限する「鎖国」を国の基本方針（祖法）としていました。レザノフは半年以上も長崎で待たされた末、幕府から通商を認めない旨の回答を受けました。この拒絶に憤ったロシア側の一部が後に北方で武力衝突を起こしたため、幕府は北方警備を強化し、異国船打払令などの厳しい対外政策へとつながっていくことになります。
問13	答え 1 大坂町奉行所の元役人であった大塩平八郎が、ききんに苦しむ人々を救おうとせず江戸へ米を送り続ける奉行所の対応に憤り、弟子らとともに蜂起した。	1830年代の天保のききんに対し、大坂町奉行所が適切な救済を行わず、逆に江戸へ米を送るなどの対応を優先したことが背景にあります。かつて奉行所の役人（与力）という立場にあった大塩平八郎が、幕府の政治を直接批判して反乱を起こしたことは、当時の社会に大きな衝撃を与えました。これは1841年から始まる天保の改革の遠因の一つともなっています。